

Fujitsu Storage ETERNUS DX8900 S6

ハイブリッドストレージシステム

多様なビジネス要件に応える柔軟性と、データ保護を実現する抜群の信頼性を提供

膨大な業務をこなし、止めない

高性能

最先端のインテル® Xeon®プロセッサを搭載し、世界最高クラスの性能で迅速なデータアクセスが可能です。さらに、コントローラーの増設により、業務を止めずに性能拡張が可能です。業務拡大に伴う性能要求に柔軟に対応できます。

高速コピー*

フルボリュームの高速コピー機能に加え、更新データの差分コピー機能やスナップショット機能をサポート。業務影響を最小限に抑えたバックアップが可能です。また、筐体間コピーをサポートし、遠隔地バックアップによる災害対策が行えます。Storage Clusterの適用時はバックアップサイトへの切り替え処理を行わず継続アクセスが可能です。

*別売ソフトウェアが必要な場合があります

高信頼・セキュリティ

主要なコンポーネントを冗長化すると共に、RAIDやキャッシュメモリのミラーリングによりデータを冗長化。ドライブ故障の兆候を検知すると事前にデータをホットスペアに自動コピーし、データの冗長性を常に確保します。停電時にはキャッシュのデータを不揮発メモリに退避し、復電時までデータを保護します。また、万が一ディスク故障が発生した場合は、障害が発生したディスク上に格納されているデータを、他の正常なディスクに高速に再配置し、迅速な復旧を実現するFast Recoveryをサポートします。

メインフレーム専用ストレージ

DX8900 S6はメインフレームを支えるストレージシステムです。DX8000 S4 seriesからのデータ移行を可能とし、安全品質への徹底した取り組みをベースに豊富な実績に基づく提案力やサポート・サービス力など総合力を活かし、お客様をきめ細かく支援します。富士通はこれからも安全品質を基点としたストレージシステムを開発し、お客様へ安心のインフラ基盤を提供していきます。

リソース活用の最適化

データ圧縮

ストレージ内のデータをリアルタイムで削減する、圧縮機能を搭載します。典型的な利用用途においてSSDの容量を半減するとともに、SSDの場合は書き込み量自体を抑制することで長寿命化にも貢献します。QoS機能との併用等により、業務特性に応じたリソース配分が自由自在です。



容量仮想化

容量を仮想化するシン・プロビジョニング機能をサポート。物理ドライブ以上の容量を仮想的にサーバへ割り当て、ドライブをプール管理。空き領域をサーバ間で共有することで、ドライブの使用率を向上します。これにより、大容量ドライブとして利用しながら、導入するドライブ数を抑制し、投資の最適化を実現します。

性能リソースの自動割当*

優先的に処理を行いたいサーバの処理性能を確保するため、QoS (Quality of Service) 機能をサポート。ETERNUS DX8900 S6内の各ボリュームに目標レスポンス (優先度) を設定することで、ストレージ内部の帯域を自動的にコントロールし、性能に余裕のあるボリュームから、目標を達成していないボリュームへ帯域を融通します。また、チューニングをシステムが自動的に実施することにより、QoS機能適用にあたってのシステム管理者の運用工数を大幅に削減します。

*ETERNUS SF Storage Cruiser v16連携

ストレージ自動階層制御*

異種ドライブ混在環境で、データのアクセス頻度を検出し、設定したポリシーに応じてドライブ間でデータ再配置を行うストレージ自動階層制御をサポート。アクセス頻度の高いデータを高性能なSSDに配置したり、利用頻度が低いデータを安価なニアラインディスクへ配置することで、コストに見合った最適な性能を得ることができます。再配置が行われてもサーバの設定変更は不要です。

*ETERNUS SF Storage Cruiser v16連携

*それぞれの項目はオープンシステム接続時に有効

ストレージ統合環境の実現

VMware連携

仮想化プラットフォームVMware vSphereに搭載されたストレージ管理技術「VVOL」により、仮想化環境におけるストレージ運用を大幅に改善します。「VVOL」を適用することで、仮想マシンとVVOLボリュームが1対1となり、ストレージを仮想マシン単位に運用可能になります。これにより、システム管理者の負荷を大幅に軽減できます。また、vCenter Serverから各仮想マシン単位でポリシー設定が可能のため、要件にあわせてきめ細やかな運用を実現します。さらに、VMware vSphereの「VAAI」APIにより、仮想マシン複製時のコピー処理など、従来、サーバで行っていた処理をストレージ側で実行することで、VMware環境のシステム性能を向上します。

マルチプラットフォーム対応/多彩な接続性

富士通のメインフレーム「Fujitsu Server GS21」から各社PC/UNIXサーバまで、あらゆるプラットフォームをサポート。FC/iSCSI/FCLINKのホストインターフェースをサポートし、多彩な接続性を提供。SAN (Storage Area Network) を活用した大規模ストレージ統合に対応します。

レンタル提供と最長10年使用

メインフレーム用ETERNUS DX8900 S6はレンタルにてご利用いただけます。レンタル費用にはハードウェア保守が付随しております。また6年目に部品交換をすることにより、引き続き業界最長クラスの10年間ご使用いただくことも可能です。ハードウェアへの投資を保護するとともに、機器更新に伴う移行工数の抑制にも寄与します。

※平日9-17時でのハードウェア保守

製品カタログ Fujitsu Storage ETERNUS DX8900 S6 ハイブリッドストレージシステム

ETERNUS DX8900 S6の装置仕様

			メインフレーム接続		基幹IA、UNIX、PCサーバ接続	
CPU			インテル®Xeon®プロセッサ			
サポートRAID			1		0, 1, 1+0, 5, 5+0, 6	
最大物理容量*1			1,228TB		45,711TB	
最大LUN数			16,384		65,535	
コントローラー数			2～8		2～8	
ホストインターフェース [最大転送速度]			FCLINK [32Gbit/s] SWL, FCLINK [32Gbit/s] LWL		FC [64Gbit/s, 32Gbit/s, 16Gbit/s], iSCSI [10Gbit/s]	
ホストインターフェース数	FC		—		4～128	
	iSCSI		—		4～64	
	FCLINK		4～64		—	
最大キャッシュメモリ容量			2,048GB		8TB	
最大Extreme Cache Pool					102.4TB	
ドライブ数			768		1,536	
最大DE数	2.5" DE	NVMe	28		28	
	3.5" DE	SAS	—		60	
サポートドライブ	2.5" NVMe SSD		非暗号化	1.6TB	15.36TB, 7.68TB, 3.84TB, 3.2TB, 192TB	
			暗号化	1.6TB	15.36TB, 7.68TB, 3.84TB, 3.2TB, 192TB	
	2.5" SSD		非暗号化	—	30.72TB, 15.36TB, 7.68TB, 3.84TB, 192TB	
			暗号化	—	7.68TB, 3.84TB, 192TB	
	2.5" 10,000rpm HDD		非暗号化	—	2.4TB (10,000rpm, AF), 1.2TB (10,000rpm)	
			暗号化	—	1.2TB (10,000rpm)	
	3.5" 7,200rpm ニアラインHDD		非暗号化	—	18TB (7,200rpm, AF), 12TB (7,200rpm, AF), 8TB (7,200rpm, AF), 4TB (7,200rpm)	
			暗号化	—	16TB (7,200rpm, AF), 8TB (7,200rpm, AF)	
ドライブインターフェース [最大転送速度]			NVMe	16Gbit/s	12Gbit/s	
			SAS	—		
外形寸法*3 [ピッチ数]	FE				W482×D805×H217mm [5U]	
	CE				W482×D785×H132mm [3U]	
	2.5" DE	NVMe			W481×D546×H88mm [2U]	
	3.5" DE	SAS			W482×D540×H88mm [2U]	
最大質量*3	FE				58kg	
	CE				55kg	
	2.5" DE	NVMe			33kg	
	2.5" DE, 3.5" DE	SAS	—		35kg	
電源条件	電圧				AC200～240V	
	相数				単相	
最大消費電力*3 [最大発熱量]	周波数				50Hz, 60Hz	
	FE				630W (680VA) [2,270kJ/h]	
	CE				1,761W (1,763VA) [6,340kJ/h]	
	2.5" DE	NVMe			570W (580VA) [2,060kJ/h]	
	3.5" DE	SAS	—		430W (440VA) [1,600kJ/h]	
	最大構成時*7	SAS	—		340W (350VA) [1,300kJ/h]	
周囲環境条件	温度				33,474W (34,132VA) [123,630kJ/h]	
	湿度				10～35℃ (動作時) 20～80%RH (動作時)	

			基幹IA、UNIX、PCサーバ接続	
省エネ法に基づく表示 (2023年度基準)	区分名		V ^{*5}	V ^{*6}
	エネルギー消費効率*4		0.000981	0.00477
	最大構成時の記憶容量 (GB)		129,600,000	3,456,000
	最大構成時のディスクドライブ種類		3.5型/18TB	2.5型/2.4TB
	最大構成時のディスクドライブ回転数 (rpm)		7,200	10,000
	最大構成時のディスクドライブ搭載台数		720	1,440

用語表記 2.5" : 2.5インチ, 3.5" : 3.5インチ, FE : フロントエンドエンクロージャ, CE : コントローラーエンクロージャ, DE : ドライブエンクロージャ

*1: 1kByte=1,000Byteとして計算した物理容量
*2: アドバンスド・フォーマット
*3: 各エンクロージャ単体の値
*4: エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を、省エネ法で定める記憶容量で除したものです。
*5: 区分Vのエネルギー消費効率は、2.5型磁気ディスクドライブと3.5型磁気ディスクドライブを混載した場合の最大構成時のものです。
*6: 区分VIのエネルギー消費効率は、2.5型磁気ディスクドライブのみを搭載した場合の最大構成時のものです。
*7: 装置に搭載可能な全オプションを搭載した場合の、最大負荷時に必要な電力値、および発熱量。

サポートサーバ/OS*1

富士通	GS21シリーズ、PRIMEQUEST (OSiV/XSP動作機構)	OSiV/MSP, OSiV/XSP, AVM/EX, AVM/EXS
	基幹IAサーバ(PRIMEQUEST、PCサーバPRIMERGY)	Windows Server 2019, Windows Server 2016, Windows Server 2012 R2, Windows Server 2012, Windows Server 2008 R2, Red Hat Enterprise Linux 7, Red Hat Enterprise Linux 6, Red Hat Enterprise Linux 5, SUSE Linux Enterprise Server 15, SUSE Linux Enterprise Server 12, SUSE Linux Enterprise Server 11, Oracle Linux 7, Oracle Linux 6, Oracle Linux 5, Solaris 11 Operating System, Solaris 10 Operating System
	UNIXサーバ(SPARC M10/SPARC Enterprise)	Solaris 11 Operating System, Solaris 10 Operating System
	SPARC Enterprise	AIX 7.2, AIX 7.1
Oracle	Power Systems, System p, pSeries, RS6/000	Windows Server 2019, Windows Server 2016, Windows Server 2012 R2, Windows Server 2012, Windows Server 2008 R2, Red Hat Enterprise Linux 7, Red Hat Enterprise Linux 6, Red Hat Enterprise Linux 5, SUSE Linux Enterprise Server 15, SUSE Linux Enterprise Server 12, SUSE Linux Enterprise Server 11, Oracle Linux 7, Oracle Linux 6, Oracle Linux 5, x86 Solaris 11 Operating System, x86 Solaris 10 Operating System, VMware vSphere 6.7, VMware vSphere 6.5, VMware vSphere 6.0, VMware vSphere 5.5, VMware vSphere 5.1, VMware vSphere 5.0, Oracle VM3, XenServer 6
その他	各社 PC サーバ	

*1 サポートサーバ/OSの詳細につきましては、弊社担当営業、または販売パートナーまでお問い合わせください。



グリーン製品
グローバルな環境対策に則った
当社独自の厳しい環境評価基準
をクリア。

- Intel、インテル、Intel ロゴ、Intel Inside、Intel Inside ロゴ、Xeon、Xeon Insideは、アメリカ合衆国および/またはその他の国における Intel Corporation の商標です。
- Windows、Windows Serverは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Linuxは、Linus Torvalds氏の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Red Hat、RPMおよびRed Hatをベースとした全ての商標とロゴは、Red Hat Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- SUSEは米国およびその他の国におけるNovell Inc.の商標です。
- Oracle&Javaは、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国、およびその他の国における登録商標です。Oracle Solarisは、Solaris Operating Systemと記載する場合があります。
- VMwareは、VMware, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 記載の会社名、製品名、名称等の固有名称は各社の商標または登録商標です。
- その他、本カタログに記載されている名称には必ずしも商標表示をしておりません。
- このカタログに記載されている製品については、改良のために予告なしに仕様、デザイン等を変更する場合がありますのでご了承ください。
- このカタログは、再生紙を使用しています。



クラス1レーザ製品

「SupportDesk」では高品質なトータルサポートを提供しています。詳細は富士通ホームページ「製品サポート」をご覧ください。 <https://www.fujitsu.com/jp/supportdesk/>

お問い合わせ先

受付時間 9:00~12:00および13:00~17:30 (土・日・祝日・当社指定の休業日を除く)
富士通コンタクトライン(総合窓口)

0120-933-200

<https://www.fujitsu.com/jp/eternus/>